

第10回 米子市美保中学校区義務教育学校開校準備委員会議事録（概要）

- 1 日 時 令和7年8月27日（水）午後7時から午後8時30分まで
- 2 場 所 米子市立美保中学校 特別活動室
- 3 出席者

アドバイザー（敬称略）

吉田 博幸

委員（敬称略）

松本 勝彦、松本 俊美（副委員長）、岡田 隆（副委員長）、西井 通（副委員長）、
田邊 忠雄、曾根 大二朗、井東 裕三、土井 賢司、池本 翼、竹本 法子、
堀場 善智（委員長）、清水 裕子、太田 敦弘、石田 江美子、川島 由美子、
水野 淑江

説明のために出席した職員

教育長

浦林 実

【教育委員会事務局】

教育委員会事務局長

長谷川 和秀

教育委員会事務局次長兼学校教育課長

仲倉 昭雄

こども政策課長

永榮 一博

こども政策課長補佐兼指導主事

遠藤 幸子

こども政策課長補佐

井原 聡史

こども施設課長補佐

前畑 昇吾

こども支援課長補佐

田中 喜之

こども政策課担当課長補佐兼指導主事

近藤 泰知

こども政策課係長

松下 貴洋

こども政策課主任

名原 裕紀

【こども総本部】

こども政策課担当課長補佐

國谷 建太

こども政策課主事

内海 宏平

こども施設課保育リーダー

飯田 聡子

こども施設課子育て支援リーダー

松原 香里

【関係部署】

交通政策課長

倉本 樹

まちづくり企画課長

斎木 雅徳

4 次第

- 1) 委嘱状交付
- 2) 教育長挨拶
- 3) 開校準備委員会設置要綱確認
- 4) アドバイザー紹介
- 5) 委員自己紹介
- 6) 委員長の選出、委員長挨拶
- 7) 副委員長の選出、副委員長挨拶
- 8) 教育環境部会部会長、副部会長の指名
- 9) 事務局説明
 - ・これまでの経緯と義務教育学校整備事業の進捗について
 - ・開校準備委員会及び専門部会について
- 10) 協議
 - ・校名選定について
- 11) アドバイザーからの助言

5 概要

(1) 次第6) 委員長の選出

互選により、堀場委員を委員長に選出。

(2) 次第7) 副委員長の選出

互選により、松本俊美委員（崎津）、岡田委員（大篠津）、西井委員（和田）を副委員長に選出。

(3) 次第8) 教育環境部会部会長、副部会長の指名

和田小学校校長の太田委員を部会長に、美保中学校 PTA の曾根委員を副部会長に指名。

(4) 次第9) 事務局説明

これまでの経緯と義務教育学校整備事業の進捗について

- ・令和3年4月に校区審議会を設置し、市教育委員会から美保中学校区の学校の在り方について諮問。同年9月に、3小学校（崎津、大篠津、和田）と1中学校（美保）を廃止し、新たに義務教育学校を設置する旨の答申。
- ・校区審議会の答申を受けて、同年10月に市教育委員会において義務教育学校設置の方針を決定。
- ・令和5年度に、崎津保育園及び小鳩保育園を統合し、義務教育学校と同一敷地内に幼保連携型認定こども園を設置する方針を決定。

- ・令和5年度から開校準備委員会、令和6年度から専門部会を設置し、調査・検討を実施。
- ・令和5年度末に基本構想を策定。
- ・令和6年12月に、当初開校目標の令和10年4月から開校時期を3年から5年延期。現在、令和13年4月を開校目標として事業を進めている。
- ・令和7年3月に造成設計及び建築基本設計が完了。
- ・令和7年4月に農地転用許可、開発許可。
- ・令和7年市議会6月定例会で財産取得に係る議案が議決。用地取得が完了。
- ・令和7年度中に造成工事及び建築実施設計着手予定。

(5) 次第10) 協議

校名選定について

【スケジュール】

(委員意見)

- ・令和8年度末の校名案決定から、令和12年3月の条例改正（正式決定）まで期間が空くことについて、停滞感や否決時のリスクが懸念される。

(事務局回答)

- ・条例改正の時期は、開校時期が確定する時期となるため、工事の進捗状況を踏まえる必要があり、現時点では令和12年3月を想定している。
- ・議会等へは、校名候補、校名案の選定過程を通して適宜報告し、理解を得ながら進めて行く。
- ・校歌等の準備は、校名案が固まったら並行して進める。

【応募資格】

- ・美保中学校区にゆかりのある方を対象とすることで概ね合意。
- ・以下の委員意見については、次回も引き続き協議する。

(委員意見)

- ・かつての勤務者（恩師等）も含めるべき。
- ・応募資格を広げすぎることによる選考負担を懸念。

【募集要項の表現】

(委員意見)

- ・募集の目的に「アイデアを募集する」とあるが、曖昧なので表現を変えてはどうか。

(事務局回答)

- ・「アイデア」という表現は、校名候補を決めるための案を広く募集するものであることが明確にわかるように表現を改める。

【選定基準および方法】

- ・今後の選考基準（地理的にイメージできるもの、愛着が持てるもの等）や方法については、事務局が実施する委員向けアンケート結果を踏まえ、次回以降に詳細を協議する。

（6）その他

（委員意見）

- ・ヌカカ対策及び夏休み期間中の子どもの居場所（なかよし学級）における暑さ対策や食事対応についてお願いしたい。

（事務局回答）

- ・ヌカカについては、弓浜地区全体、子どもの居場所については、全市的な課題として対応を考えていく。

（7）次第11）アドバイザーからの助言

- ・校名選定のスケジュールについて、市議会への丁寧な情報提供と信頼関係構築が重要。
- ・校名候補の選定基準については、地域のイメージが分かるものであるとか、子どもたちの未来が想像できるものであるとか、委員の皆さんの校名に対する願いが示せるといいのではないか。
- ・開校に向けて、4校の交流や教育課程の検討を計画的に進めて行くことが必要。